



当行は、環境省認定
「エコ・ファースト企業」です。

「環境金融」で低炭素社会へ



当行は、気候変動キャンペーン
「Fun to Share」に賛同しています。

SHIGA BANK

Change & Challenge

第132期

事業の ご報告

2018年4月 1日 ~ 2018年9月30日

 滋賀銀行

発行/2018年12月

編集/滋賀銀行 総合企画部 広報室

電話/077(521)2202

<http://www.shigagin.com>



LINE



Facebook



しがの助

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

当行は、2018年10月1日、おかげさまで創立85周年を迎えることができました。これもひとえに長年にわたる皆さまのご愛顧とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

本中間会計期間中における日本経済は、相次ぐ自然災害や、通商問題の動向が経済に与える影響などに注意を要したものの、海外経済の着実な成長や設備投資の増加などを背景に、緩やかな回復基調が継続しました。

そのような環境の下、当中間期の経常利益は、前年同期比2億8,900万円増の122億円、親会社株主に帰属する中間純利益は同3,100万円増の87億円となりました。預金残高、貸出金残高もそれぞれ増加し、順調に推移しております。

本年度は2016年4月からスタートさせた第6次中期経営計画の最終年度でもあります。次なる90周年、100周年に向けて、さらなる飛躍を遂げるべく、全力を挙げて取り組んでまいります。

今後とも、皆さまのより一層のご愛顧、ご支援を心よりお願い申し上げます。

2018年12月

取締役頭取

高橋 祥一郎



CSR憲章

[経営理念]

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

行是
自分にきびしく
人には親切
社会につくす

地域社会との 共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

役職員との 共存共栄

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「グリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

地球環境との 共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

滋賀銀行データ

名称 株式会社 滋賀銀行
THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地 滋賀県大津市浜町1番38号
設立 1933年10月1日
総資産 5兆9,630億円
預金残高 4兆8,810億円
(譲渡性預金含む)
貸出金残高 3兆7,273億円
資本金 330億円
従業員 2,086人
店舗数 135カ店(うち代理店27カ店)
(2018年9月30日現在)

CONTENTS

●ごあいさつ	1
●トピックス①SDGs	3~4
●第6次中期経営計画	5~6
●個人のお客さまへ	7~8
●法人のお客さまへ	9~10
●CSRの取り組み	11~12
●財務データ	13~20
●トピックス②地方創生	21
●トピックス③取引時確認	22
●中間連結財務諸表	23~24
●中間単体財務諸表	25~26
●株主の状況/株式会社のご案内	27~28
●役員一覧・グループ会社	29
●トピックス④生産性向上	30

「しがぎんSDGs」は実践のステージへ

～具体的な取り組みを通じた 共有価値の創造に挑戦～

「SDGs(持続可能な開発目標)」は、いまや「しがぎんSDGs宣言」を表明して1年。

企業活動において欠かせないキーワードになっています。当行でもさまざまな取り組みを進めています。

応援したい!



社会的課題解決の 取り組みをサポート

ニュービジネスサポート資金 (SDGsプラン)

SDGsに貢献する新規ビジネスに挑戦するお取引先を応援する融資商品を取扱開始。

2018.
3



ニュービジネス奨励金 「SDGs賞」

「しがぎん野の花賞」に、社会的課題解決を起点としたビジネスモデルを新たに展開する企業へ贈る「SDGs賞」を新設。

2018.
2



エコビジネス マッチングフェア

出展企業に貢献するSDGs目標を表明いただき、社会的課題解決の視点を入れた商談をサポート。



2018.
7

支えあい広げていく、SDGsへの“アクション”
～地域とともに課題を解決～



社会への さらなる貢献を目指して

SDGs私募債

「CSR私募債」をリニューアル。社会的課題解決に向けた活動を行う団体に対し、活動資金の寄付*が可能に。

*当行がふさわしいと認めた場合に限りです。

支援事例



滋賀県社会福祉協議会
子どもの笑顔はぐくみプロジェクト

2018.
9

SDGsは変革のヒント
～実は身近にある、SDGsの17項目～



「自分ごと」ととらえ、 あるべき社会のために

住宅ローンをLGBTカップルにも

住宅ローンの連帯保証人における「配偶者」に「同性パートナー」を追加。

2018.
9



「自分ごと」ととらえることが第一歩
～社会的課題解決の視点で「できること」を発見～

SDGs(持続可能な開発目標)

2015年に国連で採択された、2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットで構成され、「地球上の誰一人取り残さない」ことを誓っています。



社会的課題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、皆さまとのパートナーシップ(連携)が欠かせません。ともに「理想とする未来」を描き、実現に向けて、「考動」していきましょう。



第6次中期経営計画

メインテーマ「チェンジ&チャレンジ」

滋賀銀行の成長イメージ [ビジネスモデル]



持続可能な発展

共有価値の創造

未来創造銀行『The・ちぎん』

未来創造

筋肉質な銀行として主体的に生き残り地域の未来を創造する

生き活きたとした人間集団

行員一人ひとりが個性と能力を存分に発揮し、自己実現(夢)が可能となる組織へ

『The・ちぎん』

従来から継承してきた共存共栄の精神に基づく地域密着型金融を一段と深化させ、顔が見え、心が通う地銀のなかの地銀を目指す

総合金融・情報サービス業

3つの
チェンジ

お客さま対応
スピードの
チェンジ

組織運営
スピードの
チェンジ

コスト構造の
チェンジ

1

地方創生
への挑戦

2

トップライン
増強への
挑戦

5

戦略的CSR
への挑戦

4

強靱な
経営基盤構築
への挑戦

3

生産性向上
への挑戦

5つの
挑戦

社会的課題

潜在ニーズ

CSR憲章(経営理念)、行是

経営計画

第6次中期経営計画				第7次中期経営計画～				
2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
→ 85周年			→ 90周年					100周年

第6次中期経営計画では、メインテーマを「チェンジ&チャレンジ」と定め、3つのチェンジと5つの挑戦を基本戦略に掲げています。

既成概念や固定観念にとらわれない変革と挑戦を通じて、自らが筋肉質な銀行に生まれ変わり主体的に生き残ることで、地元・お客さまの成長を牽引し、地域の未来を創造する銀行、すなわち「未来創造銀行『The・ちぎん』」となることを目指しています。

第6次中期経営計画の進捗状況

2018年9月期現在の、当計画における達成度は下表のとおりです。

第6次中期経営計画期間中の挑戦指標

項目	2019年3月期計画	2018年9月期実績
総預り資産(未残) (総預金+投資信託+公共債+ 金融商品仲介)	5兆円	5兆1,101億円
総貸出金(未残)	3兆5,000億円	3兆7,273億円
滋賀県内貸出金シェア (商工中金他一部の金融機関を 除く)	50%	(※)48.35%
温室効果ガス排出量削減 (2016年度から2018年度の 3年間平均で2006年度 比較30%削減)	30%削減	(※)33.54%削減

※2018年3月期現在の実績数値

長期的挑戦指標

(中計期間に関わらず、実現に向けて長期的に挑戦する指標)

項目	長期的挑戦指標	2018年9月期実績
株主資本ROE	5%以上	6.60%
OHR	65%未満	74.25%



生涯にわたって「頼れる しがぎん」へ

お客さまの資産形成をサポート

お客さまのライフプランに応じた適切な商品・サービスの提供に努めています。

『しがぎん』で資産形成

豊富なラインナップからお客さまのニーズに合った質の高い提案と、アフターフォローを行います。

就職	結婚/子育て/マイホーム			セカンドライフ	相続
10歳代	20歳代	30~40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以降
ジュニアNISA	積立型商品 (iDeCo(個人型DC)、NISA(一般、つみたて)、投信積立、平準払型保険)			退職金スペシャル定期 退職金専用ソインプラン	贈与 遺言/相続
資産運用アドバイザー・休日相談店舗での資産運用相談					
保険コンサルティング(各種保険の見直し、医療保険・がん保険の取り扱い)					

ライフプランガイドをご活用ください



お客さまのライフステージに合わせたご提案や資産形成に有効な制度・各種商品のご案内などの情報を掲載しています。

さまざまなチャネルで資産運用をお手伝い！

将来の資産づくりをお手伝いするため、資産運用セミナーを月2回程度、休日相談店舗で開催しています。また、お仕事でお忙しいお客さま向けに職場での資産形成セミナーの開催も受付しています。

各支店・出張所でも担当者が資産運用のご相談を承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

休日相談店舗

土・日・祝日も営業。(9:00~17:00)
資産運用のご相談ができます。

南草津 守山 大藪

ご予約について

<http://www.shigagin.com/personal/support/personal.html>



ライフプランガイド〈一例〉

P11-12 目的に合わせてお金を色分けしてみましょう

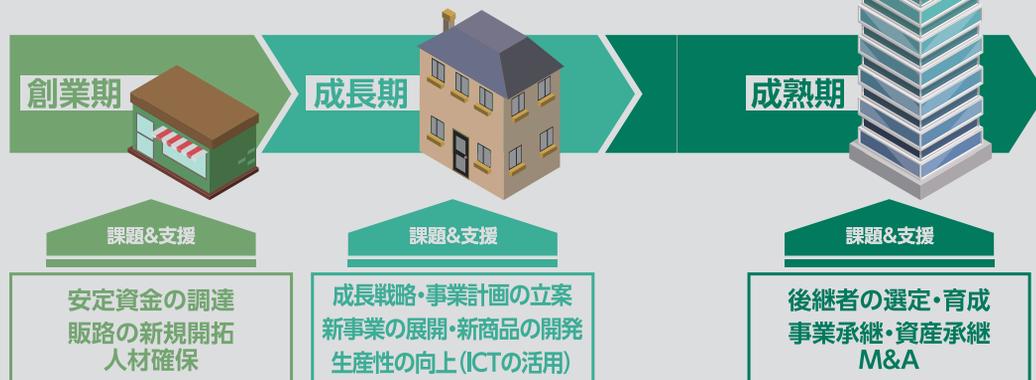


お金の使いみちに合わせて「日々の生活に必要なお金」、**「使いみちが決まっているお金」**、**「すぐに使う予定のないお金」**に色分けをします。将来のために貯蓄が必要な金額を知るツールとしてご活用ください。当行では、ライフプランガイドの活用やお客さまとの対話を通じて、最適な資産運用の方法をご案内いたします。



企業のライフステージに応じた 最適なソリューションを提供します

お客さまの幅広いご相談にお応え
コンサルティング業務



中小企業診断士や1級ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格を持つ行員が、外部機関や専門家と連携し、企業のライフステージに応じたさまざまな課題解決をお手伝いします。

新たな発想をビジネスへ

ニュービジネスサポート「サタデー起業塾」

旺盛な起業家精神をサポートするため、「サタデー起業塾」によるビジネスヒントの提供や、しがぎんニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」による産学官連携サポートなどを行っています。



ファン拡大を目指し、地域の魅力を発信!

クラウドファンディング

クラウドファンディングの手法を通じて、地域ブランドの魅力向上や、地域資源を活用した新商品・サービスの提供に取り組む事業者をサポートしています。ニーズや特徴に合わせて、複数の事業者と連携しています。



円滑な事業の承継をサポート

事業承継・M&A

経営者の高齢化、後継者不在、また経済の先行き不安により、全国的に事業承継が大きな課題になっています。早期かつ計画的な事業承継対策を行うための情報提供と、具体的な計画の策定、M&Aによる事業の存続とさらなる発展のためにサポートしてまいります。

「バンクオブザイヤー(最高賞)」を受賞
～M&Aを通じた地域への貢献が評価～

2018年6月、日本M&Aセンター主催の「第6回バンクオブザイヤー」において、最高賞である「バンクオブザイヤー」および「地域貢献大賞」を受賞しました。





環境や文化保全など、幅 地域社会に貢献してい

広い分野で ます

～地域への感謝を込めて～

地域社会への感謝活動

当行は、2018年10月1日に「創立85周年」を迎えました。この節目の年に、地域社会へ改めて感謝の思いを伝えるとともに、90周年、100周年に向けたさらなる飛躍を願い、「しがぎん創立85周年記念イベント(地域社会への感謝活動)」を実施しました。「地域社会への感謝活動」は、地域の魅力にスポットを当て、歴史、伝統行事、文化、産業などの発掘や振興に当行役職員が貢献することを目的としています。活動を通じて触れた地域資源や歴史文化の魅力は、2019年4月発行予定の地域総合誌「かけはし」特別増刊号でご紹介する予定です。

おかげさまで
85周年

自然がもつ価値や環境を後世へつなぐ

「ゆりかご水田せせらぎの里」に協力

魚のゆりかご水田は、琵琶湖と田をつなぐ排水路に魚道を敷くことで生態系を守るとともに、自然と共生できる農業の実現を目指すものです。野洲市須原地区では、地元の農家の方が中心となって2008年から魚のゆりかご水田に取り組まれています。当行は2015年より、魚道作り、田植え、稲刈り、生きもの観察会に地元支店の行員を中心に家族ぐるみで協力。持続可能な地域社会の創造と「世界農業遺産」認定を目指す活動の一つとして応援しています。



地域スポーツの振興による地方創生

「しがぎん創立85周年アニバーサリーマッチ」を開催

2018年9月15日、「しがぎん創立85周年アニバーサリーマッチ」と題して2018プレナスなでしこリーグ第11節「セレッソ大阪堺レディース vs AC長野パルセイロ・レディース戦」の協賛試合を滋賀県で開催しました。当日は、当行役職員を含む1,640名が観戦。また、「世界に羽ばたくサッカー選手を滋賀から」との思いを込めて、試合に先立ち開催されたサッカー教室「セレッソ大阪サッカークリニック」に小学生をご招待。プロサッカーコーチのもとで練習を行いました。



復活! 観音寺城

「観音寺城址整備プロジェクト」に協力

観音寺城は知名度としてはやや劣るものの、「規模」、「歴史」、「残る遺構の量」では安土城を大きく上回る巨大山城です。2014年より地元有志の方々や企業が中心となり整備活動に取り組まれており、当行も地元の支店を中心に散策路の整備や植樹などの活動に協力しています。



観音寺城址とは?

近江八幡市安土町にあった近江守護六角氏の居城址で、1,000を超える曲輪(くるわ)と数多くの石垣が残る城址です。日本100名城にも選ばれ、織田信長は安土城の築城に際してこの観音寺城を手本にしたともいわれています。



お客さまと地域の成長の ために、 ともに歩んでまいります

個人・法人ともに順調に増加

預金等

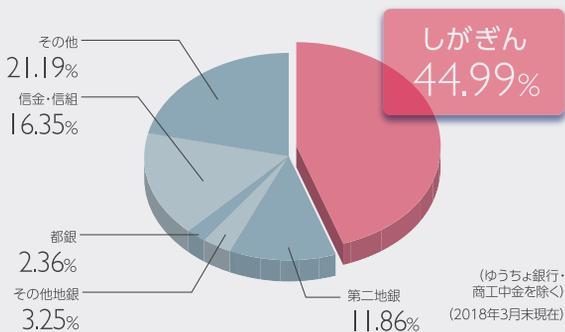
当期も地域の皆さまからのご支持を受けて、期中平均残高は前年同期比1,651億円増加し、4兆7,769億円と順調に推移しています。コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆4,632億円で同803億円の増加となりました。

預金等(譲渡性預金含む) 期中平均残高

単位:億円



預金残高「滋賀県内シェア」



※小数点第3位以下四捨五入

事業性・消費者向け・地方公共団体向け貸出ともに増加

貸出金

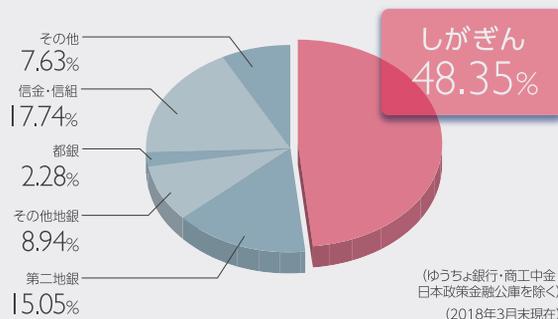
当期は、事業性貸出・消費者向け貸出・地方公共団体向け貸出がそれぞれ増加し、期中平均残高は3兆6,560億円となりました。前年同期比1,596億円、4.56%の増加となりました。

貸出金 期中平均残高

単位:億円



貸出金残高「滋賀県内シェア」



※小数点第3位以下四捨五入

資産の運用も お任せください

多様な資産運用ニーズを親身にサポート

預り資産 残高

投資信託、公共債等の預り資産残高(取扱保険料累計額含まず)は2,290億円で、前年同期末比123億円の増加、うち個人の預り資産残高は2,134億円で、同83億円の増加となりました。期中販売額は投資信託が20億円減少の197億円、保険が34億円増加の151億円となりました。

預り資産残高



投資信託・保険期中販売額



格付は安心の 「Aクラス」を確保



2つの格付機関が「A+」と高い評価

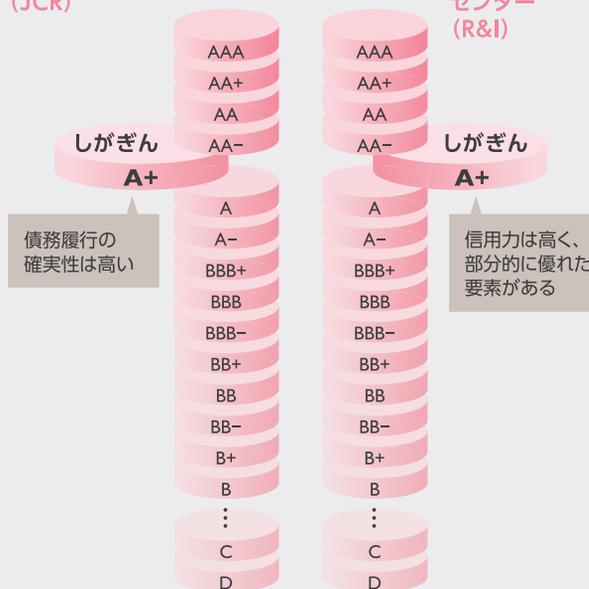
格付

「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付はお客さまに安心して銀行をお選びいただくひとつの目安となる外部評価です。

当行は、2つの格付機関からともに「A+」を取得し、信用度について高い評価をいただいています。

日本格付研究所
(JCR)

格付投資情報
センター
(R&I)



用語説明

格付

銀行預金の元利金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。



これからも「安全」「健全」な経営に努めます

自己資本比率も国際統一基準を大きくクリア

自己資本比率 (連結)

自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を測る指標のひとつです。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準を満たしていなければなりません。当行の自己資本比率は16.59%（バーゼルⅢ基準、2018年9月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

2018年9月末

	実績	最低所要比率
連結 総自己資本比率	16.59%	8.0%以上
同 Tier1比率	15.53%	6.0%以上
同 普通株式等Tier1比率	15.53%	4.5%以上

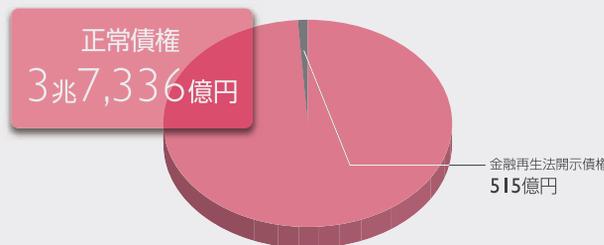
※バーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しております。

(ご参考:自己資本比率推移)



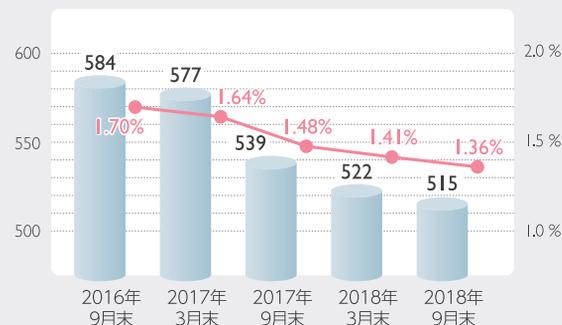
不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の合計は前期末(2018年3月末)比7億円減少し515億円、総与信に占める比率は1.36%で同0.05%の低下となりました。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は73.26%で同1.04%の低下となりました。



金融再生法開示債権

単位: 億円



用語説明

自己資本比率

銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。海外に支店を有する国際統一基準行では新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ）が2013年3月期決算から段階的に導入され、各最低所要比率を満たす必要があります。

用語説明

不良債権比率

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標のひとつになります。

お知らせします、 しがぎんの業績



業績ハイライト

- 貸出金利息は前年同期比で8,800万円の増加に転じました。しかしながら、有価証券利息配当金の減少、預金等利息をはじめとする資金調達費用が増加したこと等により資金利益は前年同期比12億円減少しました。一方、役務取引等利益は前年同期比2億円増加、その他業務利益は同9,800万円増加し、業務粗利益は同9億円の減益となりました。
- 経費は前年同期比7億円減少、株式等関係損益は同25億円増加しました。一方で、与信コストは前年同期比で26億円増加したため、経常利益は前年同期比4億円の増益となりました。また、特別損益は前年同期比3億円良化し、法人税等合計は同5億円増加しました。
- これらの結果、中間純利益は81億円となり前年同期比2億円の増益となりました。

業務粗利益

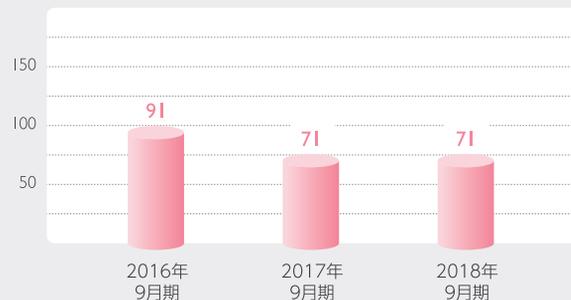
銀行本来の業務(貸出業務、為替業務、有価証券運用など)から得た利益です。

単位:億円



業務純益

一般企業でいう営業利益にあたります。業務純益 = 業務粗利益 - 経費(人件費、物件費など) - 一般貸倒引当金繰入額 単位:億円



経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。

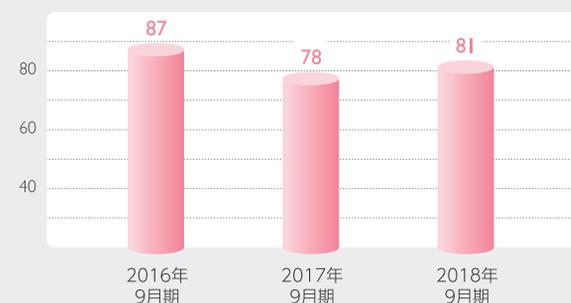
単位:億円



中間純利益

経常利益から法人税や事業税等を差し引いた最終的な利益です。

単位:億円





事例 【地方創生】

東近江市 地域おこし協力隊
地元へ移住してきた若手起業家を応援

東近江市に住む、他府県から移住してきた志の高い若い起業家たち。その中の一人が、兵庫県出身の前川真司さん。地元の人たちと一緒に「株式会社みんなの奥永源寺」を設立し、東近江市の市花である絶滅危惧種「ムラサキ」を利用した化粧品の商品化に着手。地域や行政、学校や企業を巻き込んだ活動をされています。

商品化に当たっては、当行のサタデー起業塾に参加。コンサルティングを受けながら、野の花賞の「タカラバイオ賞」を見事受賞されました。また、量産化に向け、クラウドファンディング「Makuake」を当行よりご紹介。目標額の30万円を達成され、販路拡大につながりました。



野の花賞でタカラバイオ賞を受賞した前川さん(前列右から3人目)。

「ムラサキ」の畑と花。
根は薬効のある生薬「紫根(シコン)」、染料にも用いられる。

取引時確認にご協力をお願いいたします



最近の金融犯罪やテロ行為の多発を背景に、当行では、犯罪組織やテロ組織への資金流入を未然に防止するため取引時の確認を強化しています。

多額の現金取引や多額の送金取引、特定の国・地域とのお取引などを受け付けする際、**氏名や住所、お取引の目的などを再度確認したり、追加資料のご提供をお願いしたりする場合がございます。**

また、適切にご対応いただけない場合は、やむを得ずお取引をお断りすることもございます。

皆さまのご理解・ご協力を、
よろしくお願いいたします。



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(2018年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	694,314	預 金	4,739,605
コールローン及び買入手形	1,195	譲 渡 性 預 金	123,129
買入金銭債権	5,023	コールマネー及び売渡手形	13,287
商品有価証券	313	債券貸借取引受入担保金	163,791
金銭の信託	20,727	借 用 金	370,630
有価証券	1,399,052	外 国 為 替	86
貸 出 金	3,713,131	新株予約権付社債	22,714
外国為替	8,205	そ の 他 負 債	36,337
その他資産	77,478	退職給付に係る負債	4,323
有形固定資産	56,370	役員退職慰労引当金	7
無形固定資産	2,358	睡眠預金払戻損失引当金	478
繰延税金資産	695	利息返還損失引当金	38
支払承諾見返	24,889	偶発損失引当金	184
貸倒引当金	△25,232	繰延税金負債	50,978
		再評価に係る繰延税金負債	7,110
		支 払 承 諾	24,889
		負債の部合計	5,557,595
		(純資産の部)	
		資 本 金	33,076
		資 本 剰 余 金	24,536
		利 益 剰 余 金	204,730
		自 己 株 式	△3,450
		株 主 資 本 合 計	258,893
		その他有価証券評価差額金	147,767
		繰延ヘッジ損益	1,148
		土地再評価差額金	11,357
		退職給付に係る調整累計額	1,645
		その他の包括利益累計額合計	161,919
		新 株 予 約 権	115
		純資産の部合計	420,928
資産の部合計	5,978,524	負債及び純資産の部合計	5,978,524

中間連結損益計算書

(2018年4月1日から2018年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	
経 常 収 益		50,232
資金運用収益	25,924	
(うち貸出金利息)	(18,851)	
(うち有価証券利息配当金)	(6,944)	
役 務 取 引 等 収 益	7,556	
そ の 他 業 務 収 益	10,514	
そ の 他 経 常 収 益	6,237	
経 常 費 用		37,950
資金調達費用	3,312	
(うち預金利息)	(1,102)	
役 務 取 引 等 費 用	2,536	
そ の 他 業 務 費 用	8,840	
営 業 経 費	21,061	
そ の 他 経 常 費 用	2,198	
経 常 利 益		12,282
特 別 損 失		11
固 定 資 産 処 分 損	11	
税金等調整前中間純利益		12,271
法人税、住民税及び事業税	3,110	
法 人 税 等 調 整 額	455	
法 人 税 等 合 計		3,565
中 間 純 利 益		8,706
親会社株主に帰属する中間純利益		8,706

中間単体財務諸表

第132期中 中間貸借対照表

(2018年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	694,288	預 金	4,745,519
コールローン	1,195	譲渡性預金	135,549
買入金銭債権	5,023	コールマネー	13,287
商品有価証券	313	債券貸借取引受入担保金	163,791
金銭の信託	20,727	借 用 金	362,518
有価証券	1,402,329	外国為替	86
貸出金	3,727,390	新株予約権付社債	22,714
外国為替	8,205	その他負債	22,111
その他資産	43,274	未払法人税等	2,630
その他の資産	43,274	その他の負債	19,480
有形固定資産	56,079	退職給付引当金	6,572
無形固定資産	2,328	睡眠預金払戻損失引当金	478
支払承諾見返	24,889	偶発損失引当金	184
貸倒引当金	△23,042	繰延税金負債	50,134
		再評価に係る繰延税金負債	7,110
		支 払 承 諾	24,889
		負債の部合計	5,554,948
		(純資産の部)	
		資 本 金	33,076
		資 本 剰 余 金	23,942
		資 本 準 備 金	23,942
		利 益 剰 余 金	194,648
		利 益 準 備 金	9,134
		その他利益剰余金	185,514
		固定資産圧縮積立金	400
		別 途 積 立 金	174,793
		繰越利益剰余金	10,320
		自 己 株 式	△3,450
		株 主 資 本 合 計	248,217
		その他有価証券評価差額金	147,215
		繰延ヘッジ損益	1,148
		土地再評価差額金	11,357
		評価・換算差額等合計	159,721
		新 株 予 約 権	115
		純資産の部合計	408,054
資産の部合計	5,963,003	負債及び純資産の部合計	5,963,003

第132期中 中間損益計算書

(2018年4月1日から2018年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	金額
経 常 収 益		42,348
資金運用収益	25,904	
(うち貸出金利息)	(18,846)	
(うち有価証券利息配当金)	(6,934)	
役務取引等収益	6,330	
その他業務収益	3,870	
その他経常収益	6,242	
経 常 費 用		30,984
資金調達費用	3,295	
(うち預金利息)	(1,103)	
役務取引等費用	2,739	
その他業務費用	2,769	
営業経費	20,273	
その他経常費用	1,907	
経 常 利 益		11,363
特 別 損 失		10
固定資産処分損	10	
税引前中間純利益		11,353
法人税、住民税及び事業税	2,737	
法人税等調整額	514	
法人税等合計		3,251
中 間 純 利 益		8,101

株式の状況をお知らせします

株式の状況 (2018年9月末現在)

発行済株式総数	265,450千株
株主数	11,224人

大株主の状況 (2018年9月末現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,461	5.55
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	10,557	4.05
日本生命保険相互会社	8,054	3.09
明治安田生命保険相互会社	7,999	3.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,915	2.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,790	2.60
滋賀銀行従業員持株会	6,166	2.36
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	5,903	2.26
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	5,902	2.26
JP MORGAN CHASE BANK 385151	3,794	1.45
計	76,543	29.39

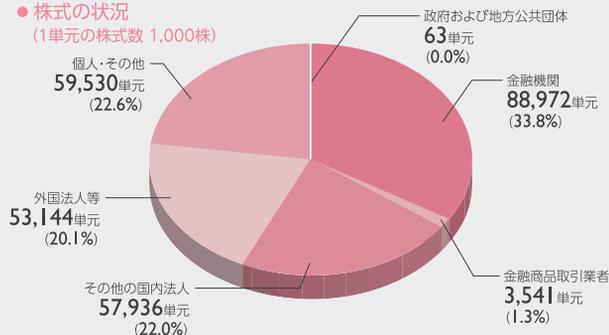
※当行は自己株式5,091千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合は1.91%)を所有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。
※持株比率は発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合です。

株式の所有者別状況 (2018年9月末現在)

※自己株式5,091,220株は、「株式の状況 個人その他」に5,091単元、「単元未満株式の状況」に220株含まれております。

● 株式の状況

(1単元の株式数 1,000株)



● 単元未満株式の状況 2,264,406株

株式のご案内

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

基準日

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

公告方法

電子公告により当行ホームページ(<http://www.shigagin.com/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数

100株

注) 2018年2月23日開催の取締役会決議により、同年10月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。また、これに併せて同年6月26日開催の定時株主総会決議により、同年10月1日付で5株を1株に株式併合いたしました。

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

郵便物送付先／各種お問い合わせ先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

● 各種事務に関するご照会 電話0120-094-777(通話料無料)

[受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日、12月31日~1月3日を除く)]

● ホームページアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取り次ぎいたします。

株式に関する各種手続き

「届出住所・姓名などの変更」、「配当金の振込先の指定または変更」、「単元未満株式の買取・買増請求」などにつきましては、口座を開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行)へお申し出ください。

未受領配当金(ゆうちょ銀行の払渡期間経過後)のお支払いにつきましては、上記の三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。

役員一覧

取締役会長	大道良夫	監査役	林一義
取締役頭取(代表)	高橋祥二郎	監査役	長谷川雅人
専務取締役(代表)	今井悦夫	※2 監査役(非常勤)	西川 聡
常務取締役	大野恭永	※2 監査役(非常勤)	松井保仁
常務取締役	若林岩男	執行役員	中島浩之
常務取締役	西 基宏	執行役員	竹村雅人
常務取締役	西藤崇浩	執行役員	青木和夫
常務取締役	久保田真也	執行役員	川口宏治
取締役	北川正義	執行役員	堀内勝美
※1 取締役(非常勤)	辻田素子	執行役員	西川勝之
※1 取締役(非常勤)	安井 肇	執行役員	岸田寛司

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

連結子会社 (2018年9月30日現在)

会社名	主な事業内容
しがぎんコンピュータサービス株式会社	事務計算受託業務
しがぎんビジネスサービス株式会社	事務代行業務、不動産管理業務
株式会社しがぎん経済文化センター	コンサルティング業務
株式会社滋賀ディーシーカード	クレジットカード業務、信用保証業務
しがぎんリース・キャピタル株式会社	リース・投資業務
しがぎん代理店株式会社	銀行代理店業務
株式会社しがぎんジェーシーピー	クレジットカード業務
しがぎんキャッシュサービス株式会社	現金精査・整理、ATM管理業務
滋賀保証サービス株式会社	信用保証業務、貸出担保評価・管理業務

トピックス
TOPICS ④生産性
向上への挑戦

～「事務の場」から「サービスの場」への展開～

多様化するお客さまのニーズに応え、お客さまに合ったサービスを提供するため、営業店の事務全般の抜本的な見直しを進めています。全店舗展開に向け、数力店で施策を導入し効果検証を行っています。

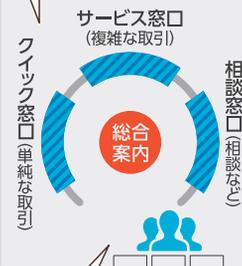
導入が進む新たな店舗スタイル

レイアウト変更

総合案内で、ご用件を伺い目的ごとの窓口のご案内。

サポートオフィス

営業店でを行う事務処理をサポートオフィスに集中。



タブレット取引の導入

口座開設や届出事項変更などの手続きをタブレットで受け付け。



セルフ取引の拡大

店頭に足を運ぶことなく、ATMやスマホで各種取引が完結。

事務量
削減待ち時間
短縮利便性
向上お客さま
との接点
増加

営業店を「事務の場」から「サービスの場」へ転換することで、お客さま一人ひとりとのリレーションを、より一層深めていきます。